

# 東京教区時報

第1062号  
2007年12月23日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

## ◇聖信受領

12月16日

主教座聖堂で

▽中野弘行(聖バルナバ)▽首藤息吹(聖ミカエル)▽清水浩子▽吉田千佐子(聖ルカ)▽香山由希(池袋)▽寺田紀子▽山田隆一(聖アンデレ)▽岩前果穂(聖アグネス)▽林英一▽大和孝明▽酒井有美(清瀬)▽鈴木麻美(神田)▽磯部幸久▽藤田憲正▽沼田大貴▽島崎裕紀▽橋本彩子(立教諸聖徒)▽矢後夏之助▽北村信正▽北村未知子(三光)▽イスル・ペイリス▽ラング・ペイリス(アジア学院)

## ◆教役者レクイエム

1月16日(水)午前10時半

主教座聖堂で

説教 植田仁太郎  
▽司祭森堯道▽司祭前島潔▽主

教ケネス・アボット・ヴァイアル

▽司祭小島茂雄▽司祭竹田真二

▽司祭福島國五郎▽司祭細貝岩

夫▽司祭柳原光▽司祭レイモン

ド・ハンマー▽司祭横地諫▽主

教黒瀬保郎

## ◆としえの平安

12月12日 松酒 俊(94) 聖愛

▽銀座朝樺会(第2&第4火

曜・7時半・ルノール喫茶室

ニュー銀座)・1月8日||感

話・倉澤一太郎聖職候補生

22日||下条裕章司祭

▽西新の会(第2&第4火

曜・井草地域区民センター)・

1月8日19時半||聖餐式・高橋

顕司祭・22日10時半||聖書の

学び・河野裕道司祭

▽聖路加国際病院礼拝堂定例

「オルガンコンサート&夕の祈

り」1月9日(水)18時半、

19時からそれぞれ。演奏者は浅

井寛子。入場無料(会場献金)。

▽1月ランチタイムコンサート

・聖パウロ 11日(金)12時20

分、0r佐藤礼子・聖テモテ

15日(火)12時30分、0r中村文

栄・神田キリスト 16日(水)

12時20分、0r坂戸真美 \*各

30分程度・入場無料

▽教区SSS主催「新春もち

つき大会」日程が聖職按手式

と重なった関係から中止に。

「教区事務所業務」12月28日

(金まで、年始は1月7日(月)

より始業。「教区時報休刊」

次主日(明春13日まで)3回休

刊。初刷り号は20日の主日に。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

イエス・キリストの誕生の様子を描き  
出してくれた、マタイとルカの物語は、何  
世紀にもわたって、教会と人々の想像力  
を掻き立ててきました。今でも、この物語  
を題材にした何百何千というクリスマスマ  
カードのデザインが生まれていること  
でしょう。

三人の占星術の学 《恵みに生かされて》

者が登場するマタイ

の物語、そして羊飼

達が登場するルカ

の物語。両方に共通して

いるのは、夜、闇、光

のない所で、みずからの仕事を黙々と遂

行する人々です。占星学者は、実際には

星々という光を相手にしているわけでは

ありません。夜、闇の中での仕事といっ

ても、別に悪いことをしているわけでは

ありません。

## キリスト誕生と光

主教 植田仁太郎

二千年後の今日、何やら、やたらに広場や建物を  
イルミネーションで飾りた

意味深いシンボリズムで  
しようか。

◇

てるのが大人気のようにです。クリスマス  
のこの時期、むしろイルミネーション  
を消して、真の闇に輝く星空をみんな  
回復する——その方が本来の人間の救い  
である「光」を再発見し易いのではな  
いかと思えます。

(東京教区主教)

## 常置委員会報告(12月11日)

\*主教諮問を受け聖職按手式を行うことを適当と答申し、1月26日に実施することとした。

\*08年度代祷表・主教巡回日等の対応、11月末の教区財務状況、教区協働委任期延長意向、各委員会開催時の食費・交通費支払い方法など、主教チャプレン、各主

事、主事会報告を了承。

\*常設・専門各委員会委員の推薦報告を受け了承。特別委員会委員推薦につき協議(継続)。

\*教区間協働の試みについて管区委員会あてて回答案を検討、協議し了承。\*その他。

▽聖公会神学院短期集中講座  
「新約聖書字の現在」聖書字から

## 公示

神のお許しがあれば、聖職按手式を下記の通り執り行い

執事 ジェームス須賀義和  
執事 ブライアン・ケビン・シーバー  
を公会の司祭に、  
聖職候補生 マツテヤ大森明彦  
を公会の執事に叙任いたします。  
主にある諸教会のご加禱とご臨証をお願いいたします。

教主降生 2007年12月14日  
日本聖公会東京教区主教  
主教 ペテロ 植田仁太郎

## 記

日時：2008年1月26日(土) 午後2時  
式場：日本聖公会東京教区  
聖アンデレ主教座聖堂  
祭色：赤を用います

以上

## 【学びと働きから】65

## 秋期信徒講座での学び

信仰と生活委員会主催で11月に開かれた、「神さまからの賜物を」というタイトルでの竹内謙太郎司祭の講話。

古代イスラエルの人々の話に始まり、ギリシャ・ローマ世界のエクレシア(都市議会)のあり方を通して、神のエクレシアにおいても教会という尊い場にも自分もいるということ、現在も献金・信施は教会の活動のための重要な信仰的行為であるということ、聖公会信徒としてなすべき大切なことであること、学び、神への想いを共有できま

した。献金は、神から全ての与えら

れたものに対しての感謝、お礼

であって何かを求めるとは、それではないこと、そしてそれが沢山、献金することによって教会が生き活きとして繁栄する、そして教会が栄えて信徒達みんなが神の国への幸せな生涯を送ることが出来るということ。献金という扱いにくいテーマでしたが、講師の見識豊かなしかし丁寧なお話を拝聴し、当日の約40人の受講者、私達は素直に献金の意味、大切さをあらためて学び、信徒としての責任、なすべきことをそれぞれが感じ合えた、気持の良い信徒講座でした。

砂田 郁郎

(東京聖三一教会)

説教へ」の主題で新約聖書学と

実践神学の両面を考察する講師陣を迎え、1月21日(月)〜24日(木)、同院で。講師Ⅱ大貫隆・関田寛雄・廣石望・挽地茂男(東京大学・青山学院大学・フェリス学院大学・同院の各教授)。全期8セッション、3万円(宿泊参加Ⅱ定員8人申込み先着順)。通学聴講各セッション2千円。申込締切Ⅱ1月11日(金)。詳細照会・申込みは同院宛に、TEL 03(3701)0575。

▽顕現日祈りの集い 女性が教会を考える会主催「新しい人間性をめざして」スリランカ聖公会女性会議に参加して。話・木川田道子(管区女性デスク担当)。1月6日(日)16時〜18時、聖バルナバ教会・TEL 03(3268)8067。

## 《今、この教会では…》

## 聖.パトリック教会

当教会は、立川基地会衆から独立して、日本人会衆だけの礼拝を行った日を創立日として、今年1日(土)に創立50周年記念礼拝と祝会を行いました。

記念事業として、祭壇の両脇に木造建築にふさわしい、爽やかなステンンドグラスをはめ込み、入口と駐車場側に念願の十字架を建て、教会名を入れた門柱を設置しました。また、過去の資料整理から始めて5年がかりで50年史を編纂し、記念誌を刊行しました。

「立川にキリスト教の伝道を」という、当時の日米両会衆の熱い思いを伝え続けていかななくてはと思っています。(浅川尚子)